



“QUEEN MARY 2”

サウザンプトン〜ル・アーヴル〜ハンブルク乗船記

文・写真 藤木 洋一

4月に“QM2”の10Night Eastbound Transatlantic Crossing Hamburgの区間クルーズで、サウザンプトン〜ル・アーヴル〜ハンブルク6日間(海側船室)が約11万円(成田からの航空運賃込み)という破格の値段で売り出されました。成田〜サウザンプトン、ハンブルグ〜成田の移動はイスタンブール経由で北九州の自宅から約30時間かかり、尚且つロンドン・ヒースロー空港から本船乗船場所、ハンブルグ港下船後ハンブルク空港までの交通手段は個人手配が条件のハードな旅ですが、何よりもエルベ河の遡航に興味があり5月23日から29日まで出かけてきました。

“QM2”の船客が少なくなくて安売りしているのではないかと思いきやパーサーズ・オフィスに確認するとなんと2,500人(定員2,705人 内日本人95人)が乗船しているとのことでした。

サウザンプトンでは、“QE”“BRAEMAR”“MCS MAGNIFICA”が寄港しており5月24日17時30分大雨の中、“QE”がスペイン・パルマに向けて先に出港して行きました。

翌25日5時30分視界約150mの濃霧の中をル・アーヴル港のピレ・カレット埠頭(Quai Pierre Callet)に接岸しました。サウザンプトンを20時に出港した“MCS MAGNIFICA”が7時に入港予定でしたが濃霧で確認が取れませんでした。8時30分市内観光のためシャトルバスで移動中、濃霧の中に本船の船尾を見て予定通り入港したことを知りました。午後、霧が晴れ港の様子が解らなくなったので散策に出かけました。ル・アーヴル港は干満の差が大きい水門で内港と外港に分かれており、外港には“MCS MAGNIFICA”が接岸しているクルーズ・ターミナルやポーツマス行のBrittany Ferriesの桟橋がありました。

同日19時、“QM2”はル・アーヴルを出港、続いて19時30分“MCS MAGNIFICA”がスペイン・ラコルーニャに向けて出港しました。港口で郵船のコンテナ船“NYK FALCON”と反航しました。“QM2”は、17ノットで北上し、26日5時、ドーバー海峡でイギリス・ドーバーとフランス・カレーを結ぶDFDS Seawaysのフェリーが横切りましたが船名の確認は取れませんでした。5時30分ドーバー海峡通過し、北海に出ると“QM2”の周りに同航船、反航船の姿が次第に増え、周囲には北海油田の櫓も多くみられるようになりました。“QM2”は徐々に速力を上げ12時には19ノットでオランダのワッテン諸島沖をエルベ河口に向けて航海を続け、23時59分エルベ河口でリバー・パイロットを乗船させ、速力約12ノットで遡航を開始しました。

翌27日5時過ぎに夜明けを迎え速力を約7ノットに減速して遡航を続け、途中2隻のコンテナ船と反航しました。6時にハンブルグ港外でハーバー・パイロットが乗船して7時に新しく出来たシュタインヴェーダークルーズ・ターミナルに接岸しましたが、ハンブルグ港のあるエルベ河の川幅は約363mそこで全長345mの本船がタグを使わずに180度回頭して後進で進みさらに左に回頭してターミナルに接岸する操船技術は圧巻で感動を覚えました。9時30分に下船して予約しておいたシャトル・バスでハンブルグ中央駅へ向かいました。シュタインヴェーダークルーズ・ターミナルからハンブルグ中央駅までは約40分かかりました。その後、ハンブルグ国際海事博物館に立



大雨のサウザンプトンを出港する“QE”と“QM2”

ち寄りしました。この博物館は古い倉庫を改造した10階建て11,000㎡の建物で世界最大の規模を誇ります。展示品は1/1250のダイキャスト・モデルを始め世界の商船、軍艦模型や海洋画家など多数あり全て見て回るには最低3時間が必要です。同館の中では、ハンブルグ港を紹介する書物、船舶の絵葉書、模型などが販売されております。また、レストランも併設しており、1日中閲覧することも可能です。



QE2 クルーズ・ターミナルに接岸するフレッドオルセン・クルーズの “BRAEMAR” 24,344GT 1993BLT
Ex “CROWN MAJESTY”



ル・アーヴル クルーズ ターミナルに接岸する” MSC MAGNIFICA” 背景は” QM2”



ル・ハーヴル〜ポーツマス間に就航するフェリー “BAIE DE SEINE”



ル・アーヴル港全景 “QM2” は一般岸壁に接岸



ル・アーヴル港に入港する日本郵船のコンテナ船
“NYK FALCON” 144,277GT 139,500DWT 2017 建造



“CAP SAN ANTONIO” 118,938GT
北海をハンブルグに向かう。



エルベ河でコンテナ船“BALTIC PETREL” 16,324GT “MITO STRAIT” 9,910GT と反航



シュタインヴェータークルーズターミナルに
接岸作業中の QM2 と
“COSCO SHIPPING TAURUS”199,000GT (左)

ハンブルグ国際海事博物館



1/1250 ウォーターライン モデル



“MSC FANTASIA”



“BREMEN”



戦艦 “BISMARCK” “TIRPITZ” 大和



船舶画 油彩